

【4-8 定性的システマティックレビュー】

CQ	9a	腋窩リンパ節再発に対する外科的切除は勧められるか？
P	腋窩リンパ節単独再発の症例	
I	腋窩リンパ節再発に対する手術を施行	
C	手術の施行なし	
臨床的文脈		重要臨床課題4: 転移再発乳癌に対する外科治療

O1	全生存率
非直接性のまとめ	腋窩リンパ節転移は発生頻度は低い。腋窩リンパ節転移に対する手術追加の有無については、サンプルサイズが小さく、アウトカム測定も異なるため大きいと見なす。
バイアスリスクのまとめ	腋窩リンパ節転移は発生頻度は低い。腋窩リンパ節転移に対する手術追加の有無については、サンプルサイズが小さい。また、背景調整もなされていないことから大きいと見なす。
非一貫性その他のまとめ	腋窩リンパ節転移は発生頻度は低い。腋窩リンパ節転移に対する手術追加の有無については、サンプルサイズが小さく、アウトカム測定も異なるため大きいと見なす。
コメント	生存率について報告している論文は少なく解釈が難しいが、腋窩リンパ節転移は発生頻度が低い(0.78%)ため、死亡への影響は少ないと思われる(益)。

O2	無病生存率
非直接性のまとめ	腋窩リンパ節転移は発生頻度は低い。腋窩リンパ節転移に対する手術追加の有無については、サンプルサイズが小さく、アウトカム測定も異なるため大きいと見なす。
バイアスリスクのまとめ	腋窩リンパ節転移は発生頻度は低い。腋窩リンパ節転移に対する手術追加の有無については、サンプルサイズが小さい。また、背景調整もなされていないことから大きいと見なす。
非一貫性その他のまとめ	腋窩リンパ節転移は発生頻度は低い。腋窩リンパ節転移に対する手術追加の有無については、サンプルサイズが小さく、アウトカム測定も異なるため大きいと見なす。
コメント	無病生存率について報告している論文は少なく解釈が難しいが、腋窩リンパ節転移は発生頻度が低い(0.78%)ため、死亡への影響は少ないと思われる(益)。

O3	リンパ節再発
非直接性のまとめ	腋窩リンパ節転移は発生頻度は低い。腋窩リンパ節転移に対する手術追加の有無については、サンプルサイズが小さく、アウトカム測定も異なるため大きいと見なす。
バイアスリスクのまとめ	腋窩リンパ節転移は発生頻度は低い。腋窩リンパ節転移に対する手術追加の有無については、サンプルサイズが小さい。また、背景調整もなされていないことから大きいと見なす。
非一貫性その他のまとめ	腋窩リンパ節転移は発生頻度は低い。腋窩リンパ節転移に対する手術追加の有無については、サンプルサイズが小さく、アウトカム測定も異なるため大きいと見なす。
コメント	少数の報告において腋窩リンパ節転移に対する手術後のイベントでリンパ節再々発に言及したものがなく、不明確である(害)。

O4	手術合併症
非直接性のまとめ	
バイアスリスクのまとめ	
非一貫性その他のまとめ	
コメント	論文なし

O5	コスト
非直接性のまとめ	
バイアスリスクのまとめ	
非一貫性その他のまとめ	
コメント	論文なし

O6	QOL
非直接性のまとめ	
バイアスリスクのまとめ	
非一貫性その他のまとめ	
コメント	論文なし